

学校だより



くるだ

令和6年2月29日 第12号
富士宮市立黒田小学校
富士宮市星山 1030-2
電話 0544-26-2670

学校教育目標

自分事として学び、共に活動する子

ニジマスの赤ちゃんはかわいそう、だってお母さんに会えないから

— 4年生男子のつぶやきより —

校長 米津 英郎

令和6年2月7日(水)、校長室で育てていたニジマスの卵が孵化しました。この卵は、にじます祭実行委員会からいただいたもので、1月31日(水)からお世話をしていました。孵化したことを全校の子供たちに伝えたいと思った私は、昼の放送で伝えました。そして、この日の放課後、4年3組担任の福井先生から次のような話を聞きました。昼の放送を聞いていた4年3組のAさんは次のようにつぶやいたそうです。

「ニジマスの赤ちゃんはかわいそう、だってお母さんに会えないから。」このつぶやきは、孵化したことを喜んでいて私にとってはとても新鮮で、いろいろと考えさせられるものとなりました。

このつぶやきに感心した私は、4年3組のAさんにインタビューを試みることにしました。Aさんの返答がまた**予想外の内容**だったので、さらにうれしくなりました。

校 長：どうして、ニジマスの赤ちゃんは、お母さんに会えなくてかわいそう、と思ったのですか。

Aさん：えーっと、**国語の学習をしたときに、孵化した生き物の赤ちゃんは、お母さんに会えなくてかわいそうだなんて、思ったことがあったからだよ。**

校 長：国語の教科書に、ニジマスの赤ちゃんのことが載っていたのですか。

Aさん：ニジマスの赤ちゃんのことは教科書に載っていなかったけど、ウミガメの赤ちゃんのことは載っていたよ。国語の「ウミガメの命をつなぐ」を勉強したときに、**ウミガメの赤ちゃんは、お母さんに会えなくてかわいそうだなんて、みんなで話し合ったことを思い出したんだ。だから、ニジマスの赤ちゃんもお母さんに会えないから、かわいそうだなんて思ったんだ。**

Aさんは、**国語の学習と生活をつなげて考え**、お母さんに会えないニジマスの赤ちゃんのことを**かわいそう**と表現しました。

戦後の教育は、学習と生活を切り離して考えるように展開されてきました。しかし、今日においては**学習したことを生活に生かす、生活の中で生まれた問題を解決するために学習に取り組むようにすること**を大切にしています。これからもAさんのような**やさしい気持ちと学習と生活をつなげて考える力**を育んでいきます。3月もよろしくお願い致します。